

「工業英語能力検定試験（1級）」において当社従業員2名が合格しました

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：香川 佳之ノ以下、当社）は、昨年11月10日（日）に行われた第121回工業英語能力検定試験（1級）において翻訳事業部の2名が挑戦し、合格しましたのでお知らせいたします。

工業英検とは、1981年より公益社団法人日本工業英語協会が実施している「科学技術文書を英語で読む能力・書く能力を客観的に正しく評価する」ための資格検定試験です。必要とされるのは、一般の英語能力だけでなく、3Cと呼ばれる、Clear（明確に）、Concise（簡潔に）、Correct（正確に）の考え方であり、受け手によって複数の解釈ができてしまうことがないように事実を正確かつ簡潔に伝える能力が求められます。特に1級は技術知識に基づいて専門用語を十分に理解している必要があり、非常に難易度の高い試験です。この回の合格者数はわずか6名、合格率にして4%という狭き門でした。

当社の翻訳事業部は、トヨタ自動車や自動車関連企業をはじめとした215社以上のお客様からご依頼をいただいております。論文や規格等の技術翻訳、特許出願明細書、特許公報等の特許翻訳、会議における通訳等で多くの実績を重ねております。また、英語のみならず中国語やドイツ語など34の言語に対応したサービスを展開しております。これからも、お客様のご要望にお応えできるサービスと、翻訳業務30年で培った知識と経験にさらに磨きをかけて、お客様にご満足いただける品質を提供してまいります。



<合格証と合格者>

1級受験で得たスキルを活かし、質の高い翻訳を目指します。

翻訳事業部 第2翻訳室 栗原昌子